

## 大学発新産業創出基金事業 早暁プログラム 第 2 期ステージ 1 新規採択課題の決定について

JST（理事長 橋本 和仁）は、「早暁（そうぎょう）プログラム」第 2 期ステージ 1 における新規課題を決定しました（別紙）。

本プログラムでは、大学等発スタートアップ創出に向けて、ビジネス視点を持つ事業化人材<sup>注</sup>が、起業経験や投資経験などを有するメンターによるメンタリングを受けながら、自らが描いた事業化構想を実現させるために大学等の技術シーズを探索し、研究者とチームになってビジネスモデルのブラッシュアップと研究開発を推進することで、大型ギャップファンドなどの次のフェーズへの移行を目指します（参考）。

今回は 2025 年 7 月 17 日（木）から 8 月 28 日（木）まで提案募集を行い、49 件の応募がありました。それらの応募に対し外部専門家で構成された委員会による書類審査と面接審査を実施し、その結果を基に 18 件の新規課題を決定しました。

本プログラムの詳細については以下ウェブページをご覧ください。

URL : <https://www.jst.go.jp/program/startupkikin/sogyo/index.html>

### 注) 事業化人材

自らの事業化構想を実現するための技術シーズ（事業化を目指す上で核となる研究成果など）の探索と、技術シーズを活用したビジネスモデルの構築を行う人材。

### <添付資料>

別紙：大学発新産業創出基金事業 早暁プログラム 第 2 期ステージ 1 採択課題一覧

参考：大学発新産業創出基金事業 早暁プログラム 概要

### <お問い合わせ>

#### <事業に関すること>

科学技術振興機構 スタートアップ・技術移転推進部

〒102-0076 東京都千代田区五番町 7 K's 五番町

渡部 博之（ワタナベ ヒロユキ）

E-mail : [sogyo@jst.go.jp](mailto:sogyo@jst.go.jp) ※お問い合わせは電子メールでお願いします。

#### <報道に関すること>

科学技術振興機構 広報課

〒102-8666 東京都千代田区四番町 5 番地 3

Tel : 03-5214-8404 Fax : 03-5214-8432

E-mail : [jstkoho@jst.go.jp](mailto:jstkoho@jst.go.jp)

### <科学を支え、未来へつなぐ>

例えば、世界的な気候変動、エネルギーや資源、感染症や食料の問題。私たちの行く手にはあまたの困難が立ちはだかり、乗り越えるための解が求められています。JST は、これらの困難に「科学技術」で挑みます。新たな価値を生み出すための基礎研究やスタートアップの支援、研究戦略の立案、研究の基盤となる人材の育成や情報の発信、国際卓越研究大学を支援する大学ファンドの運用など。JST は荒波を渡る船の羅針盤となって進むべき道を示し、多角的に科学技術を支えながら、安全で豊かな暮らしを未来へとつなぎます。

JST は、科学技術・イノベーション政策推進の中核的な役割を担う国立研究開発法人です。

大学発新産業創出基金事業 早暁プログラム 第2期ステージ1  
採択課題一覧

(敬称略、氏名は五十音順)

事業化人材	課題名
李 相完	中小製造業向けセマンティック AI を活用した産業 IoT マatchingサービス・プラットフォーム
江本 祐太郎	高機能天敵による高生産性栽培技術の確立
尾内 敏彦	テラヘルツ波を用いた非破壊検査装置の開発
小野 洋一	脱・化学肥料を目指す先端物理技術を用いた農業生産事業
北島 慎太郎	低コスト製造プロセスの実現に向けたリチウムイオン電池材料の検討
木村 優太	内部構造をスキャンし、設計図を作成するサービス「ReSketch」
坂下 真規	衛星データを活用した感染症早期警戒システムの社会実装
園生 悠太	有効な既存治療がない心不全疾患に対する新規医療機器の開発
谷 慎一	高機能化した酵素を活用した産業用排水ソリューションの開発
玉井 雄起	液化水素ステーションの開発
塚原 翔	薬剤開発コストと期間を半減する基盤事業の創生
平田 裕也	有機材料を活用したバイオスティミュラント資材合成システムの開発
益田 舞	ウェアラブルを活用したメンタルヘルスケアのサービス開発
山口 奈々	セラミックや金属合金を用いた熱エネルギー貯蔵システムの実用化
山田 恭平	“できるうち”に備え、“これから”を選ぶ ― 高齢ドライバーを支援する多層モデルの社会実装 ―
愉 彦樺	EV-DDS の事業基盤構築
吉永 祐貴	AI・センサ融合による技能可視化と個別運動指導支援システムの開発
米倉 海晴	若年層多発型眼科疾患に対する治療薬の探索および開発

## 大学発新産業創出基金事業 早暁プログラム 概要

### 1. 大学発新産業創出基金事業の趣旨

大学発新産業創出基金事業は、「スタートアップ育成5か年計画」（2022年11月政府発表）などを踏まえ、日本における大学等発スタートアップ創出力の強化に向けて、研究開発成果の事業化や海外での事業展開の可能性検証を視野に入れた研究開発を推進するとともに、地域の中核となる大学等を中心とした産学官共創による大学等発スタートアップ創出支援などの実施を可能とする環境の形成を推進します。

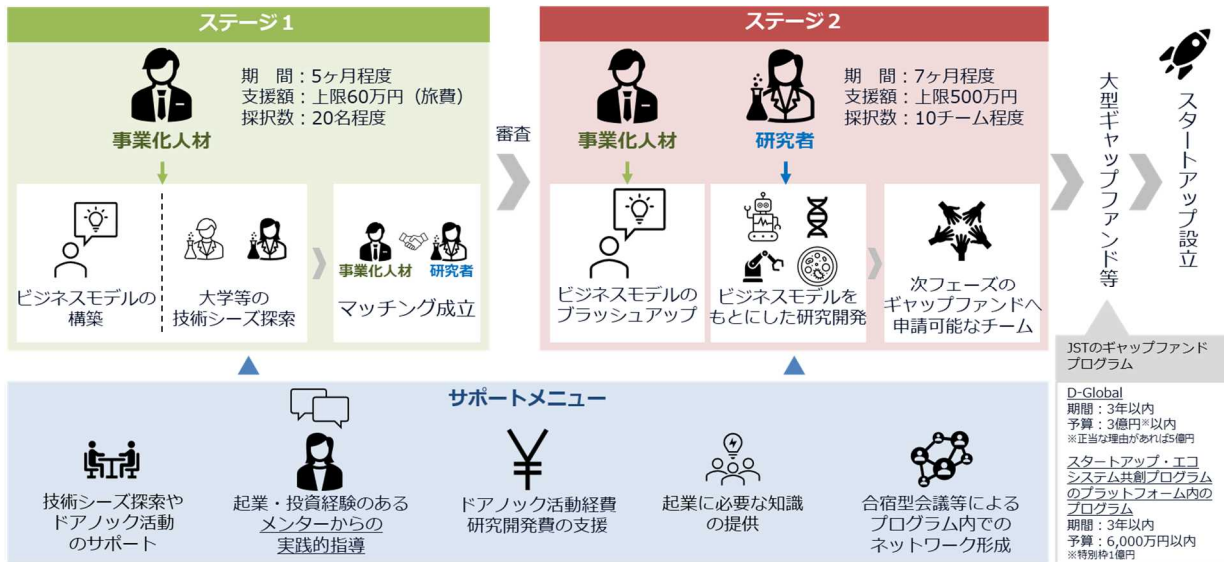
### 2. 早暁プログラムについて

#### (1) 概要

本プログラムは、ステージ1とステージ2で構成されています。

ステージ1では、自らの事業化構想を実現するための技術シーズの探索および技術シーズを活用したビジネスモデルの構築を行う事業化人材を公募します。審査により選ばれた事業化人材は、メンターによるメンタリングを受けながら、自らが描いた事業化構想を実現させるために大学等の技術シーズを探索し、研究者とチームアップして研究開発課題の提案を行います。提案された研究開発課題から、審査によりステージ2実施課題を選抜します。

ステージ2採択チームは、メンターによるサポートの下、事業化に向けた研究開発（科学的な検証）やビジネスモデルのブラッシュアップを行います。



#### (2) 活動期間ならびに研究開発期間

ステージ1 活動期間：5カ月程度

ステージ2 研究開発期間：7カ月程度

#### (3) 活動費ならびに研究開発費

ステージ1 活動費：上限60万円

ステージ2 研究開発費：上限500万円（研究開発期間総額、直接経費）

以上